

こんにちは。六月になり、留学開始から四か月が過ぎました。

オーストラリアでは五月下旬より通常授業が再開し、徐々にコロナウイルスが流行する前のもとの生活に戻りつつあります。また、オーストラリアの季節は秋に移り変わり、海が近いクリーブランドでは肌寒い日が続いています。

五月のほとんどは自宅でのオンライン授業という体制でした。自宅で勉強をしても英語力が伸びないと感じた私は、オンライン授業が行われる五週間、一日も欠かさず学校に通いました。自由登校という形がとられているので学校に来る生徒の数は極端に少なかったです。ある日は生徒の数よりも先生の数のほうが多い時もありました。

私は休み時間毎に先生のオフィスに通い、アドバイスを頂いたり補習をして頂いたりしました。そのことを校長先生に評価していただき、オンライン授業が行われた五週間のうち最も成績向上に努めた生徒として、インブループメントアワードを受賞しました。オンライン授業では週ごとに配られる授業計画書を自分で読み、課題や授業に取り掛からねばならず、それが英語力のない私にとっては大変な作業でした。ですので、学校にいるというアドバンテージを生かして先生に頼っていただけで、正直身に余る賞だと感じます。しかし、オーストラリアに来てからの頑張りが賞として形に残ったと考えれば、素直に嬉しかったですしこれから頑張っていくモチベーションにもなると思いました。

今、学習していて楽しいと感じるのは中国語と法律です。中国語はとにかく先生が素敵な方で、オンライン学習期間は特にこの先生にべったりでした。三年間中国語を勉強してきたクラスメイトに比べれば、今年から勉強し始めた私は発音も日常で使うフレーズもまだまだで、特に発音は日本語にないピンばかりで難しいです。しかし第二外国語をセカンドランゲージで学ぶ、ということは到底できる経験ではないので、これからも頑張ります。法律の授業は現在「過失と責任」について学んでいます。これは実際にあった事件や事故のシチュエーションを読み、当人たちの過失の大きさなどを判断する授業です。法律は授業内で出てくる単語が専門的なものばかりで、何について先生がお話ししていたのかちんぷんかんぷんだったという日が未だによくあります。ただでさえ難しい内容なのに、辞書を片手に勉強する私はクラスメイトより半歩どころか五歩くらい遅れています。それでも自分の興味のある分野について詳しく勉強していくのはすごく楽しいです。大学で私は国際関係法学科を専攻したいと考えているので、この経験は将来に必ず活けると信じています。

この六月を過ごしたら、留学期間の半分が過ぎてしまうことに驚きを隠せません。あまりにも飛ぶように時間が経ってしまい、まだ達成できていないことやこれから挑戦したいことが山ほどあって焦りを感じています。次世代リーダーのゼミナール研究はほとんど手付かずのままです。来週からはテストも始まります。これからの留学生活はどれだけ日本語に触れずに過ごしていけるかが英語力を伸ばす鍵になると思うので、時間を大切に充実した生活を送っていきたいです。

白鷗高校 12 期生 次世代リーダー 8 期生 K・R